

国際財務報告基準(IFRS)と日本基準との差異について(2019年3月期)

本日発表のIFRSに基づく2019年3月期決算に関し、IFRSと日本基準との主要な差異は以下の通りであります。

1.連結損益計算書

1)基準差異金額

(億円)

項目	日本基準	IFRS	差額
売上収益	14,064	14,173	109
営業利益	580	612	31
親会社の所有者に 帰属する当期利益	215	274	59

2)基準差異要因

(億円)

項目	基準差異要因	金額
売上収益	①一部の金型をファイナンスリースとみなして処理したことによる増加等	109
営業利益	①のれんを非償却としたことによる増加	13
	②退職給付会計における数理計算上の差異等を包括利益認識したこと等による増加	10
	③その他	8
	合計	31
親会社の所有者に 帰属する当期利益	①営業利益までの基準差異による増加	31
	②海外子会社清算損の認識差による増加	33
	③その他	△ 5
	合計	59

2.連結財政状態計算書

1)基準差異金額

(億円)

項目	日本基準	IFRS	差額
総資産	7,522	7,935	413
(うち 純資産)	(3,130)	(3,293)	(163)

2)基準差異要因

(億円)

項目	基準差異要因	金額
総資産	①一部の金型をファイナンスリースとみなして処理したこと等によるリース債権増加	482
	②その他	△ 69
	合計	413

以上